

調査結果まとまる…

大磯
駅前

石積擁壁の安全対策

…道路拡幅整備を促進

町では、以前からその安全性が心配されていた大磯駅東側の町道大磯48号線（大磯駅から商工会へ向かう道路）にある石積擁壁の状態を確認するため調査を実施し、このほど調査結果がまとまりました。

報告書では「現状では石積に、はらみや変状などは認められないが、恒久対策として考えた場合には、石積擁壁裏込コンクリートの品質の問題、石積擁壁構造の問題、擁壁の急勾配と高さの問題が挙げられており、将来的には石積の除去または補強対策を実施することが求められる」という結果が出されました。

大磯駅周辺の整備については、平成18年3月に策定された



▲歩行者の多い町道48号線

『大磯町第4次総合計画』に「地域において障害者や高齢者はもちろん、誰もがいきいきと生活できるような交通安全対策や、歩道の拡幅、交差点のスロップ化、道路のバリアフリー化の促進」が明記されています。また、総合計画と同時期に策定された『大磯町まちづくり基本計画』で、「大磯らしいまちづくりの重点地区と取り組み」として「大磯駅周辺地区」を重点地区の一つに掲げ、「駅及び駅周辺のバリアフリー化と景観形成への取り組み」を大磯らしいまちづくりの整備方針として明記されています。

更に今年3月には町議会で「大磯駅周辺の安全安心のまちづくりを求める決議」が採択され、6月には「安全・安心のためのまちづくりのため大磯駅周辺の道路・歩道整備を求める要望書」が約6,000人の方々から提出されています。

町ではこのような経過をふまえて通勤・通学者をはじめ、子どもたちや観光客の安全確保のため、また、将来のまちづくりを見据えた観点からマンション建設事業者と調整を図り、歩道の設置や車道の拡幅というような交通安全に配慮した道路整備を図っていきます。

◎問い合わせ

都市整備課 ☎内線232

町長と語る集いを終えて

元気で住みよい町にするために、6月14日から7月28日まで、町長と語る集いを開催しました。

集いには、延べ515人の方々が参加され、町政に対する意見、提言、また地域で抱える問題などについて活発な発言をいただきました。

参加された方と語り合うことで、地域のみなさんがさまざまな問題や悩みを抱えていることが改めて知らされた次第です。いただきましたご意見、ご要望につきましては、今後の町政運営の参考にさせていただきます。

これからも、住民の目線に立ったサービスの提供を心がけ、すぐにできるものについてはすぐに対処し、連絡があったらすぐに現場に駆けつける現場主義を実践することで、明るく元気な大磯の町づくりに努めていきます。

なお、内容の詳細につきましては、役場本庁舎1階及び国府支所1階の町民情報コーナー、図書館本館及び国府分館に設置します。また、町のホームページでも閲覧できます。



▲石神台会館での集いの様子

▼いただいた主なご意見

- ・富士見地区のコミュニティバスについて
- ・学校法人国際学園と国府本郷西小磯1号線について
- ・生沢プールの跡地利用と代替のプールについて
- ・湘南国際マラソンについて
- ・河川の護岸・治水整備について
- ・狭あい道路の整備について
- ・NCRに替わる広域避難所について
- ・防災行政無線の放送について

◎問い合わせ

地域協働課 ☎内線237